

令和元年度

事業報告書

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

<b>I</b>	<b>研修・教育活動</b>	
	<b>1. 交通安全教育指導者等養成活動</b>	
	(1) 交通安全教育指導者研修会の開催	2
	(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催	2
	(3) スーパーアドバイザー養成研修の実施	3
	(4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催	3
	(5) 地域連携型高校生向け自転車交通安全教育推進事業の実施	5
	(6) 二輪車（主として原付）通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催	5
	(7) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催	6
	<b>2. 交通安全教育指導者等支援活動</b>	
	(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催	7
	(2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施	7
	(3) 講師派遣の実施	8
	(4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施	8
	<b>3. 交通安全教育啓発活動</b>	
	(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした 移動型交通安全啓発活動の実施	8
	(2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施	8
	(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施	9
	(4) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施	9
	(5) 自転車安全利用講習会の実施	10
	(6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施	10
	(7) 国際協力による教育普及活動の実施	10
	(8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進	10
<b>II</b>	<b>調査研究活動</b>	11
<b>III</b>	<b>情報収集提供活動</b>	
	1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行	12
	2. ホームページによる情報の発信及び収集	12
<b>IV</b>	<b>教材の制作・普及事業</b>	
	1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及	12
	2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施	12
	3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及	12
<b>V</b>	<b>基本財産の運用</b>	12
<b>VI</b>	<b>会議の開催</b>	
	1. 理事会	13
	2. 評議員会	13
	3. その他	13

## I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

### 1. 交通安全教育指導者等養成活動

#### (1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て開催した。

- ①開催日 令和2年1月16日(木)～1月17日(金)(2日間)
- ②場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- ③テーマ 「子どもと高齢者に対する効果的な交通安全教育」
- ④内容 **【1日目研修】13:00～17:00**
  - 講義1「子どもの交通安全  
発達心理学で交通行動を考える」  
講師：大阪国際大学 人間科学部 教授 山口 直範氏
  - 講義2「高齢者の安全ゆとり行動」  
講師：実践女子大学 人間社会学部 教授 松浦 常夫氏
  - 実践発表1「対象者に応じた効果的教育手法について」  
発表者：(一財)日本交通安全教育普及協会**【2日目研修】9:00～16:00**
  - 講義3「高齢ドライバーの運転挙動調査からわかること」  
講師：NPO法人高齢者安全運転支援研究会 事務局長 平塚 雅之氏
  - 実践発表2「子どもに対する交通安全指導」  
発表者：群馬県高崎市 地域交通課 交通安全担当
  - 実践発表3「高齢者に対する交通安全指導」  
発表者：埼玉県警察本部 交通総務課 交通教育指導係
  - 班別協議・発表
- ⑤参加者 95名

#### (2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、2回開催した。

- ①会場 令和元年12月9日(月)9:50～16:50  
国立オリンピック記念青少年総合センター 33名  
令和元年12月10日(火)9:50～16:50  
国立オリンピック記念青少年総合センター 32名
- ②内容 ○チャイルドシートと幼児について(医学的見地から)  
○道路交通法について(チャイルドシートの使用義務)  
○チャイルドシートの技術基準  
○チャイルドシートの基礎知識  
○チャイルドシート取付け実習

### (3) スーパーアドバイザー養成研修の実施

自動車教習所指導員を対象に、交通安全教育を実施できる企画力と教育能力を備えた人材の養成を目的としたスーパーアドバイザー養成研修（延べ5日間）を実施した。

- ①研修日 **【集合研修】**  
第15期：令和元年6月18日(火)～6月20日(木)（3日間）  
**【フォローアップ研修】**  
第15期：令和元年10月8日(火)～9日(木)（2日間）
- ②場所 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
- ③内容 **【集合研修】**  
○講話「交通行政の概略」  
○教育技術指導1「人間行動と動機づけ」「リーダーシップの基本」  
「地域の交通安全センターになるために」  
○実習1（グループ討議・全体討議）「ヒヤリハット実例と原因・対策」  
○応用1（グループ討議）「能力向上のために学んだこと」  
○教育技術指導2「プレゼンテーションの仕方」  
○実習2（グループ討議）「教習所と自分の現状分析と課題」  
○応用2（グループ討議）「交通安全センターの果たすべき役割」  
**【フォローアップ研修】**  
○講義1「フォローアップ研修の意義と位置づけ」  
○講義2「KJ法」の進め方  
○実習（グループ討議・全体討議）「地域の交通安全センターになるために」  
○講義3「期待される交通安全教育指導員とは」  
○全体総括「個人別決意表明・講評」
- ④講師 千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏  
(株)クレド 代表取締役 吉永 恵一氏  
(一財)日本交通安全教育普及協会
- ⑤参加者 10名（最終修了者 8名）

### (4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を開催した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、平成27年度及び29年度認定者を対象に、認定者のレベルアップを図ることを目的とした認定更新講習会を2日間の日程で開催した。

#### 【認定講習会】

- ①開催日 令和元年10月31日(木)～令和元年11月1日(金)（2日間）
- ②場所 大阪都島自動車学校（大阪府都島区）
- ③内容 **【1日目講習】** 10:00～18:00  
○講義1「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○講義2「自己理解を促すためのディスカッション手法について」

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

○実技「屋外で実施する自転車教育の手法等について」

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

**【2日目講習】9:00～16:00**

○講義3「自転車の交通ルールについて」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○協議「ディスカッション（屋内）及び自転車実技（屋外）の指導案作成」  
「実演リハーサル」

○実演「ディスカッション」、「自転車実技（事故再現と正しい走行等）」

○筆記テスト

④参加者 19名

**【中級更新講習会】**

①開催日 令和元年11月21日（木）～11月22日（金）（2日間）

②場所 一般財団法人ボーケン品質評価機構 5階セミナールーム（東京都江東区）

③内容 **【1日目講習】13:30～18:00**

○講義1「高等学校における自転車教育事例紹介」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会

○講義2「コーチング技法の基礎理論と実践」

①アイスブレイク ②傾聴の技法 ③オープンクエスチョン 等

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

**【2日目講習】9:00～16:00**

○協議1「コーチング技法展開協議（事故はなぜ起きた?）」

○協議2「コーチング技法展開協議（実践を想定したシナリオ案作成）」

○実演「コーチング技法実践（グループディスカッションの展開）」

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

④参加者 19名

**【上級更新講習会】**

①開催日 令和元年11月14日（木）～11月15日（金）（2日間）

②場所 一般財団法人ボーケン品質評価機構 5階セミナールーム（東京都江東区）

③内容 **【1日目講習】13:30～18:00**

○実演「事前課題についての実演発表（個人）」

○講義1「コーチングメソッド(マイクロコーチング等)を活用した教育手法」

講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

○協議1「屋内で行う自転車安全運転教室(自転車シミュレータ等を活用した展開)の指導案作成」

**【2日目講習】9:00～15:10**

○協議2「屋内で行う自転車安全運転教室(自転車シミュレータ等を活用した展開)の指導案作成」

○実演「屋内で行う自転車安全運転教室(自転車シミュレータ等を活用した展開)の実演(グループ)」

○協議3「実演内容の改善点について」

④参加者 8名

(5) 地域連携型高校生向け自転車交通安全教育推進事業の実施

(一社) 日本自動車工業会からの委託を受けて、高等学校における自転車教育を自動車との安全な共存を目指したプレドライバー教育として位置付け、31年度は、山形県において、教育委員会・高等学校・自動車教習所と連携し、参加・体験型の自転車教室を6回実施するとともに、教育委員会主催の研修会において本事業の実施内容を報告した。また、昨年度まで実施していた兵庫県においても、フォローアップ事業として自転車教室を4回実施した。

○山形県における事業

モデル事業（教育委員会・高等学校・自動車教習所と連携した参加型の自転車教室）

- ①令和元年5月30日（木） 山形県立長井工業高等学校 全学年260名  
（教習所）マツキドライビングスクール長井校
- ②令和元年6月7日（木） 山形県立鶴岡中央高等学校 1・2年生377名  
（教習所）鶴岡自動車学園
- ③令和元年6月13日（木） 山形県立酒田光陵高等学校（座学）全学年997名  
（教習所）出羽自動車教習所
- ④令和元年6月14日（金） 山形県立新庄神室産業高等学校 1年生120名  
（教習所）新庄第一自動車学校
- ⑤令和元年6月19日（水） 山形県立上山明新館高等学校 全学年770名  
（教習所）の一きれん自動車学校
- ⑥令和元年7月18日（木） 山形県立酒田光陵高等学校（体験学習）1年生312名  
（教習所）出羽自動車教習所

山形県高等学校交通安全教育指導者研修会（講義及び演習による事業内容周知）

- ◎令和元年6月12日（水） 山形県職員育成センター  
講師 （一財）日本交通安全教育普及協会

○兵庫県における事業

フォローアップ事業（教育委員会・高等学校・自動車教習所と連携した参加型の自転車教室）

- ①令和元年6月7日（金） 兵庫県立湊川高等学校 全学年130名  
（教習所）神戸ドライビングスクール
- ②令和元年7月10日（水） 兵庫県立農業高等学校（定時制） 全学年195名  
（教習所）アールドライバーズスクール西北
- ③令和元年7月16日（火） 兵庫県立神崎高等学校 全学年240名  
（教習所）福崎インター自動車学校
- ④令和元年10月18日（金） 兵庫県立西脇高等学校 全学年840名  
（教習所）西脇自動車教習所

(6) 二輪車（主として原付）通学許可校等の生徒指導担当者研修会の開催

(一社) 日本二輪車普及安全協会からの委託を受けて、高校生に対する指導の機会・場をより一層充実拡大することを目的に、高等学校教職員及び自動車教習所教習指導員が一堂に会し、高校生の交通事故実態についての座学、実技講習による二輪車（原付）特性の理解、生徒の交通事故事例についての意見交換会等を内容とする研修会を3か所で開催した。

【教職員及び教習指導員合同研修会】

- ①令和元年10月7日（月） 宮城県運転免許センター（仙台市泉区市名坂字高倉65）  
参加者 宮城県内高等学校（6校6名）、宮城県内自動車教習所（24校24名）

- ②令和元年 11 月 11 日（月） 熊本県中央自動車学校（熊本市中央区坪井 6-10-1）  
参加者 熊本県内高等学校（16 校 16 名）、熊本県内自動車教習所（23 校 25 名）
- ③令和元年 11 月 26 日（火） 鹿児島県吉野自動車学校（鹿児島市下田町 628）  
参加者 鹿児島県内高等学校（27 校 27 名）、鹿児島県内自動車教習所指導員（24 校 24 名）

（7）交通ボランティア等ブロック講習会の開催

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティアや交通指導員等を対象に、地域の交通ボランティア等の交通安全に対する意識の高揚及び資質の向上を図り、地域社会全体の交通安全の確保を図ることを目的として、主に子供と高齢者の交通安全をテーマにした講演や各地の活動事例発表、班別協議等を内容とする講習会をブロック別に開催した。

①北海道ブロック

開催日 令和元年 11 月 21 日（木）～22 日（金）  
会場 ホテルポールスター札幌（北海道札幌市）  
講演 ○講演 1「飲酒運転根絶のために」  
講師：特定非営利活動法人 ASK・飲酒運転対策特別委員会委員長 山村 陽一氏  
○講演 2「高齢者（運転者も含めた）に対する交通安全の動機づけ」  
講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏

参加者 1 日目 56 名、2 日目 38 名

②東北ブロック

開催日 令和元年 9 月 9 日（月）～10 日（火）  
会場 ウエディングプラザアラスカ（青森県青森市）  
講演 ○講演 1「地域の安全は“ひと・笑顔・ひと”から」  
講師：金沢星稜大学 人間科学部 教授 池田 幸應氏  
○講演 2「子どもの交通行動と発達の関係」  
講師：大阪国際大学 人間科学部 教授 山口 直範氏

参加者 1 日目 52 名、2 日目 43 名

③関東・甲信越ブロック

開催日 令和元年 10 月 28 日（月）～29 日（火）  
会場 ホテルポートプラザちば（千葉県千葉市）  
講演 ○講演 1「子どもの交通行動と発達の関係」  
講師：大阪国際大学 人間科学部 教授 山口 直範氏  
○講演 2「高齢者（運転者も含めた）に対する交通安全の動機づけ」  
講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男氏

参加者 1 日目 34 名、2 日目 31 名

④東海・北陸ブロック

開催日 令和元年 10 月 3 日（木）～4 日（金）  
会場 AOSSA 福井市地域交流ピラザ（福井県福井市）  
講演 ○講演 1「動機付けと交通安全活動」  
講師：自由学園 最高学部 講師 溝端 光雄氏  
○講演 2「自転車の事故防止のために」  
講師：（一財）日本交通安全教育普及協会 主幹 石井 征之氏

参加者 1 日目 35 名、2 日目 40 名

⑤近畿ブロック

開催日 令和元年 11 月 7 日（木）～8 日（金）  
会場 ホテルプリムローズ大阪（大阪府大阪市）

- 講演 ○講演1「交通ボランティア活動を考える」  
 講師：安全教育研究所 所長 星 忠通氏  
 ○講演2「子どもの交通行動と発達の関係」  
 講師：大阪国際大学 人間科学部 教授 山口 直範氏

参加者 1日目名43名、2日目36名

#### ⑥中国・四国ブロック

- 開催日 令和元年10月7日(月)～8日(火)  
 会場 高知会館(高知県高知市)  
 講演 ○講演1「動機付けと交通安全活動」  
 講師：自由学園 最高学部 講師 溝端 光雄氏  
 ○講演2「自転車の事故防止のために」  
 講師：(一財)日本交通安全教育普及協会 主幹 石井 征之氏

参加者 1日目50名、2日目46名

#### ⑦九州ブロック

- 開催日 令和元年10月17日(木)～18日(金)  
 会場 ホテルタイセイアネックス(鹿児島県鹿児島市)  
 講演 ○講演1「高齢者(運転者も含めた)に対する交通安全の動機づけ」  
 講師：千葉大学 名誉教授 鈴木春男氏  
 ○講演2「地域の安全は“ひと・笑顔・ひと”から」  
 講師：金沢星稜大学 人間科学部 教授 池田 幸應氏

参加者 1日目35名、2日目36名

## 2. 交通安全教育指導者等支援活動

### (1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会並びに政令指定都市教育委員会の交通安全教育担当者等を対象に、今後の安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、文部科学省の後援を得て、講義及び子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題についての協議、意見・情報交換等を内容とする協議会を全国2ブロックで開催した。

- ①ブロック 【大阪会場】令和元年7月12日(金)10:30～16:30  
 サムティフェイム新大阪(大阪府大阪市)12名  
 【東京会場】令和元年7月16日(火)10:30～16:30  
 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室(東京都千代田区)9名
- ②内容 ○講義と質疑応答「学校に求められる交通安全教育」  
 講師：文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課  
 安全教育推進室 安全教育調査官 森本 晋也 氏  
 ○協議「学校に求められる交通安全教育と安全管理等の充実」  
 ○意見・情報交換

### (2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施

当協会の各種認定(スーパーアドバイザー、高校生向け自転車安全教育インストラクター)を受けた自動車教習所指導員及び自動車教習所の実践力を高め、地域の交通安全に貢献することを目的として、地域密着型の交通安全モデル事業を2県(兵庫県・三重県)4か所で実施した。



### (3) 講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体及び民間企業等からの要請により、児童・生徒から高齢者まで対象者に合わせた交通安全講習会や啓発イベントへ職員等の講師を派遣した。

### (4) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティア等の資質の向上を図るとともに、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的に、地方公共団体から提案された参加・体験・実践型のプログラムを2か所で実施した。

#### ①千葉県会場

事業名 高齢者交通安全教室

日時 令和元年12月2日(月) 9:00~12:00

会場 柏南自動車教習所(千葉県柏市高柳21番地)

参加者 柏市内の高齢者 40名

内容 座学:講義(柏警察署)

実技:実技教習

交通安全体験:サポカー体験、交通安全適正診断者、飲酒ゴーグル

#### ②長野県会場

事業名 めざせ!自転車王!親子で学ぶ自転車安全教室

日時 令和元年10月27日(日) 13:00~16:00

会場 長野県松本平広域公園 信州スカイパーク(長野県松本市神林)

台風19号の影響により中止

## 3. 交通安全教育啓発活動

### (1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした移動型交通安全啓発活動の実施

J A共済連からの委託を受けて、地域で実施されるイベント等に自動車及び自転車の交通事故防止を目的に、交通安全危険予測シミュレータ等を搭載した車両及び指導員を派遣した。

①自動車シミュレータ体験車 派遣回数 77回

②自転車シミュレータ体験車 派遣回数 90回

### (2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施

東京都からの委託を受けて、児童とその保護者、及び高齢者を対象に「歩行者向けの交通安全危険予測シミュレータ」を活用した講習会や啓発イベントを実施した。

①小学生向け(実施回数 112回 都内の小学校 112校)

プログラム ○交通安全クイズ(信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験(横断歩道等の渡り方、危険予測学習)

講師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

②幼稚園・保育園向け(実施回数 7回 都内の幼稚園・保育園 7校)

プログラム ○交通安全クイズ(信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験(横断歩道等の渡り方、危険予測学習)

講師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

③高齢者向け(実施回数 15回)

プログラム ○認知・判断力診断

○歩行シミュレータ実技体験（道路の横断の仕方、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

④啓発イベント（実施回数9回）

プログラム ○歩行シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施

東京都からの委託を受けて、児童・生徒とその保護者、及び高齢者を対象に「自転車の交通安全危険予測シミュレータ」を活用した教室や啓発イベントを実施した。

①小・中・高校生向け（実施回数120回 都内の小・中・高等学校120校 参加者数14,692人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、ヘルメットの着用、点検の重要性、事故発生時の義務）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

②高齢者向け（実施回数6回 参加者数101人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、非注意性盲）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

③啓発イベント（実施回数46回 参加者数4,220人）

プログラム ○自転車シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(4) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施

地域の学校、関係機関、地区リーダー、ブリヂストンサイクル（株）等の協力・支援の下、幼児・児童とその保護者を対象に参加・体験型の自転車交通安全教室を埼玉県内7か所で実施するとともに、当協会が開発した自転車シミュレータを活用した高齢者向け自転車交通安全教室を埼玉県内1か所で開催した。

【幼稚園】

令和元年 6月14日（金）普門院幼稚園 年長園児 110名

令和元年 6月28日（金）大成幼稚園 年長園児 40名

内容：交通安全講話（腹話術・パネルシアター等による交通ルール、信号の意味、飛び出しの危険性 等）、自転車実技体験（発進・停止の方法）

【小学校】

令和元年 6月 8日（土）さいたま市立大成小学校 3・4年生 24名 ※親子教室併催

令和元年 6月17日（月）さいたま市立日進北小学校 1・3年生 267名

令和元年10月 3日（木）上尾市立原市南小学校 3年生 95名

令和元年10月24日（木）上尾市立東町小学校 3年生 124名

令和元年11月 6日（水）上尾市立上平北小学校 3年生 45名

内容：交通安全講話（自転車のルール、点検の方法、ヘルメットの重要性）、自転車実技体験（信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行）

【親子自転車交通安全教室】

令和元年 6月 8日（土）さいたま市立大成小学校 2年生・保護者 19組40名

内容：交通安全講話（自転車のルール、点検の方法、ヘルメットの重要性）、（保護者向け）自転車のルールと指導方法、（児童向け）ブレーキングと狭路走行、（指導実践）実技・基本走行（信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行）

【高齢者自転車交通安全教室】

令和元年10月18日（金）さいたま市シルバー人材センター 浦和事務所 46名  
内容：講義「自転車を安全に乗るために」、体験学習「シミュレータ危険予測学習」  
「体力診断」

(5) 自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

令和元年度は、合計 29 回、4,034 名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、反射材配付、市民には TS マーク助成券及びの交付等を行った。

(6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方法や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを 5,000 枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路（株）等に配布した。

(7) 国際協力による教育普及活動の実施

令和元年度は、ミャンマーの交通安全活動を支援するとともに、JICA 草の根技術協力事業（草の根協力支援型）に応募し、採択案件として選定された。

採択事業 「ヤンゴン市における子供を対象とした交通安全教育指導者養成事業」

内 容 ○交通安全指導員を育成するスペシャリスト指導員の養成

○交通安全教育指導員研修カリキュラム作成

○交通安全教育指導員の育成

○子供向け交通安全教育用カリキュラム及び教材・教具作成

○ヤンゴン市内小学校でのモデル事業実施 等

時 期 令和 2 年 11 月以降より開始予定

(8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識を高揚することを目的とした交通安全フォーラム（内閣府及び開催地の県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛）の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 令和元年 10 月 29 日（火） 13:00～16:30

場 所 佐賀勤労者総合福祉センター（メートプラザ佐賀）（佐賀県佐賀市）

テ ー マ 追突事故と高齢者の交通事故防止を考える  
～すすめ、安全なミライへ～

内 容 ○アトラクション 佐賀県警察音楽隊

○基調講演「追突事故・高齢者の運転事故発生要因と防止法」

一般社団法人安全運転推進協会 理事 松永 勝也氏

○パネルディスカッション

富吉 賢太郎氏（学校法人佐賀清和学園理事長）  
梅田 傑氏（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）  
掛園 治司氏（鹿島警察署中央交番連絡協議会会長）  
川久保 正文氏（佐賀県警察本部交通部首席参事官）  
松永 勝也氏（一般社団法人安全運転推進協会理事）

参加者 約430名

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力を行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

内閣府及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民1人1人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクール（41回目）を実施した。

令和元年度は、小学生2,297点、中学生9,524点、一般（高校生以上）333点、合計12,154点の応募となった。

## II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、令和元年度は、昨年度より継続して、さいたま市教育委員会より3年間の学校安全教育研究指定校となった小学校3年生以上の児童を対象とした自転車安全教室の効果と同校保護者から子どもの自転車利用実態や安全意識等について調査を実施した。また、さいたま市小学校校長会の協力の下、同調査の対象を広げることで、市全体の傾向と課題について、今後の交通安全指導に生かすことを目的に実施した。

目的 小学校児童を対象とした自転車安全教室の手法について、知識の定着度や安全意識の観点から効果測定を行い、その結果を踏まえた教育現場で活用できる望ましい自転車安全教室の指導方法の在り方を探るとともに、保護者による子どもの自転車利用の実態、安全意識、交通ルールの知識・理解等を調査することにより、自転車交通安全に関わる啓発の推進を図る。

調査方法 3年生～6年生児童は自転車安全教室実施前・後でアンケート調査を行った。  
また、保護者は1年生保護者全員に調査を依頼して行った。

対象者 児童：3年生～6年生 407名（回収結果100%）  
保護者：1年生全保護者 103家庭（回収結果92.2%）

調査期間 児童：3年生～6年生（事前）令和元年5月21日～31日（自転車運転免許講習以前）  
3年生～6年生（事後）令和元年12月9日～18日  
保護者：1年生全保護者 平成31年4月12日～19日

調査内容 ①子どもの自転車利用に関わる実態（保護者・3年生～6年生児童）  
②自転車の安全に関わる意識（保護者）  
③自転車に関わる交通ルールの知識・理解（保護者・3年生～6年生児童）

### Ⅲ 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育等を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2種類の活動を実施した。

#### 1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」を毎月編集・刊行した。

#### 2. ホームページによる情報の発信及び収集

ホームページの積極的な活用を通して、広く交通安全教育や各種教材・教具等に関する情報を発信するとともに、双方向的に全国からの情報の収集に努めた。

### Ⅳ 教材の制作・普及事業

#### 1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

既存の交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、資料・教材の改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

令和元年度は、平成30年度までに開発を終えた「交通安全危険予測シミュレータ」歩行者編、自転車編、自動車編及びスタンドアロンタイプのVR機器等について、レンタルでの利用を促進するとともに普及の拡大を図った。

#### 2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

関係機関・団体及び民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

#### 3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及

「子どもたちを交通事故から守り、ドライバーを加害者にならない」ことを目的として、ドライバーから児童や自転車通学者の視認率を高めるための高視認性安全服の着用普及を図るために、「児童及び自転車通学者向け高視認性安全服」に対して交通事故防止の観点から基準を設け、基準に適合した製品を認証するとともに、その証として認証ラベルを発行した。

①認証・推奨数    認証件数 7件、推奨件数 15件（令和2年3月31日現在）

②ラベル発行数    認証ラベル 42,850枚、推奨ラベル 73,760枚（令和2年3月31日現在）

### Ⅴ 基本財産の運用

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠であることから、所有ビルを賃貸するなど、基本財産等の運用に関する事業を引き続き実施し、その運用益の確保に努めた。

## VI 会議の開催

以下のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

### 1. 理事会

- (1) 期日 令和元年6月13日(木) 14:00~15:00  
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会「会議室」  
議題 第1号議案 平成30年度事業報告書(案)の承認について  
第2号議案 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書(案)の承認について  
第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について  
第4号議案 定時評議員会の開催(案)について  
第5号議案 代表理事及び執行理事の職務執行状況の報告について
- (2) 期日 令和2年3月17日(火) 14:00~14:55  
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会「会議室」  
議題 第1号議案 令和2年度事業計画(案)の承認について  
第2号議案 令和2年度収支予算(案)の承認について  
第3号議案 代表理事及び執行理事職務執行状況の報告について

### 2. 評議員会

- (1) 期日 令和元年6月27日(木) 14:00~15:15  
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会「会議室」  
議題 第1号議案 平成30年度事業報告書について  
第2号議案 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について  
第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書について  
第4号議案 評議員の選任について

### 3. その他

ほぼ1か月に1回の割合で、代表理事・業務執行理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。